

自分が“世界”と出会う場所

早来地区 義務教育学校 について

はじめに

令和5（2023）年4月、早来地区に義務教育学校が開校します。

皆さんにもっと新しい学校について知っていただくため、令和3（2021）年8月号より連載をスタートしました。

今月も、新しい学校が早来地区のどの辺りに建つか、敷地内のどこに校舎が建つかなど『場所』をテーマにご説明します。

今後広報紙で

紹介すること

今後は次のようなテーマで義務教育学校に関する情報をお伝えしていく予定です。

3月号

なぜ義務教育学校としたのか、なぜその場所にしたのかなどの理由について
みんなの新しい学校をつくる会について

4月号

この学校を建てるためにかかる費用などについて

5月号

新しい学校の教育目標などについて

6月号

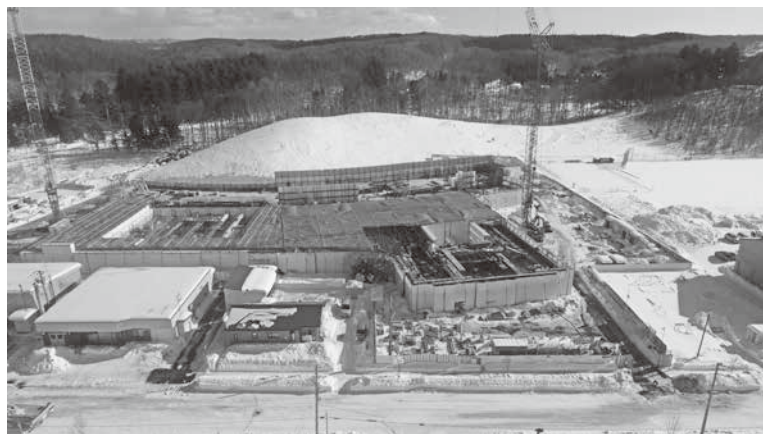
開校までのスケジュールや進捗状況などについて

※皆さんからの質問事項や事業の進み具合などによっては、内容を変更することがありますのでご了承ください。

早来地区義務教育学校

建設の様子

1月25日(火)時点での様子をお伝えします。



これまでの動き

広報あびら12月号において、この学校に興味・関心を持っている皆さんへアンケートを実施

し、その結果が出たことをお知らせしました。

9月 校名の公募

(アンケート)

10月 結果の集計と

決定方法検討

11月 候補案の選定

12月 児童・生徒投票の実施

9月のアンケートでは、ご応募いただいた意見の中でほとんど一致するものが見られなかったことから、いただいた意見を分析し、開校準備委員会という会議の中でいくつかの候補案をつくりました。

校名候補3案と

児童・生徒投票

最終的には、次の3つの候補案をつくりました。また、その候補案をどのように一つに決めていくかを会議した結果、「今、早来地区の学校に通っている児童・生徒に選んでもらおう」ということになりました。